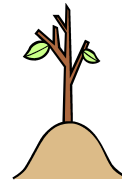


種時く人

令和3年12月1日
須恵小学校便り31号



あらゆる「大事」は、「小事」から起こる（小事は大事）貞観政要 政体篇

小さいことをおろそかにせず、大ごとにならないよう予防に努めていきたいものです。

火災避難訓練（11/24）

理科室から火災が発生したとの想定で実施しました。児童らは、整然と2分28秒で文化ホールの駐車場に避難完了できました。恒松昭次消防隊長（PTA会長）から、有意義な指導をいただきました。



語り部の会（11/25）

1年	蜂のお話	伊津野 幸一様
2年	天空に咲く遠山桜	遠山 好勝様
3年	火の祈禱	平野 敏美様
4年	つつじヶ丘学園の紹介	恒松 祐輔様
5年	つぼん汁の心と作り方	愛甲 文子様
6年	医学の先人「長野文治」	愛甲 利孝様

今回は、2週連続となりました。通常の教育活動ができることを大変うれしく実感します。いろいろな方の貴重な体験もお聞きしたいと考えます。

児童に伝えたいお話等がありましたら、どうぞ教頭までご連絡ください。自分のしている仕事やその喜び及びやりがいも大歓迎です。児童が仕事の意味や自分の生き方、そして自分や社会の未来を考えるきっかけになります。

家庭学習チェック週間（11/29～12/3）

近年、家庭学習が重要視されています。個に配慮し学習意欲を喚起する授業に職員は取り組んでいますが、学習への興味・関心は教科等を含め千差万別でしょう。「理解が不十分だったら復習をする。興味があったら発展的に取り組む」など、自分で学習を調整できるようになると、生涯の学びにつながります。

東洋の民話「カサとウチワ」

ある母親の息子は、長男がカサ売り、次男がウチワ売りでした。この母親は、雨が降ると弟のウチワが売れないと言って悲しみ、晴れると長男のカサが売れないと悲しんでいました。毎日が悲しみの連続です。あるとき村の長老からアドバイスを受けました。「雨のときは兄のカサが売れて喜び、晴れると弟のウチワが売れてうれしいと考えてはいかがかな」。考え方を変えた母親は、毎日が悲しみから喜びへ変わりました。相田みつを氏の言葉と同じです。「しあわせはじぶんのところがきめる」

